

第1回 鏡川大橋色彩検討委員会

会議次第

日時：平成19年10月30日（火）13：30～15：30

場所：国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 1階会議室

高知市江陽町2番2号 (TEL 088-885-4828)

(1) 開会

- 開会挨拶（国土交通省 土佐国道事務所長 松井保幸）
- 委員紹介
- 会則の承認（資料-1）
- 会長選出
- 副会長指名
- 会長挨拶

(2) 資料確認

(3) 本年度の開催予定について（資料-2）

(4) 鏡川大橋に関する工事内容の説明（国土交通省 土佐国道事務所 管理第二課）

（資料-3）

(5) 審議事項－鏡川大橋色彩検討について

- 鏡川大橋色彩検討に関するこれまでの経緯（リーフレット）（資料-4）
- H18年度「浦戸湾・色彩計画策定協議会」で検討された概要報告
 1. 現況確認
 - ・ 色彩を検討する上での視点場について（資料-5）
 2. 基本的な考え方
 - ・ 色彩面から考慮すべき橋の構成要素（資料-6）
 - ・ シンボルカラーについて
 - ・ 制約条件
- 色彩検討についての討論
- 質疑応答

(6) アンケート調査について

(7) 次回開催日について

（予定）平成19年12月中旬

(8) 閉会

- 閉会挨拶（国土交通省 土佐国道事務所長 松井保幸）

鏡川大橋色彩検討委員会 名簿

2007年10月30日(火) 13:30~15:30

土佐国道事務所1階会議室

	役職	氏名	所属	代理出席	第1回
1	委員	大倉 美知子	日本色彩学会正会員 カラーリスト		○
2	委員	鎌田 良耀	潮江地区町内会連合会 会長		○
3	委員	神崎 健史	(社)高知県建築士会 まちづくり研究会 代表		○
4	委員	楠瀬 正	南街地区町内会連合会 会長		○
5	委員	久保 博道	高知県土木部道路課 課長		○
6	委員	重山 陽一郎	高知工科大学 社会システム工学科 准教授		○
7	委員	竹村 志麻	テレビ高知(KUTV) アナウンサー		○
8	委員	西山 忠利	JAF 高知県支部長		×
9	委員	松山 明夫	高知県バス協会 専務理事		×
10	委員	元吉 太郎	ほっとこうち 編集長		○
11	委員	山崎 隆正	NPO法人 高知NPO 浦戸湾みらい会議 「浦戸湾・色彩計画専門部会」 部会長		○
12	委員	吉田 光輝	高知市都市計画課まちなみデザイン室 室長		○
13	委員	松井 保幸	国土交通省 土佐国道事務所長		○
1	事務局	小林 幸雄	国土交通省 土佐国道事務所 副所長		○
2	事務局	石川 安二	国土交通省 土佐国道事務所 管理第二課長		○
3	事務局	石下 増美	国土交通省 土佐国道事務所 管理第二課交通対策係長		○
4	事務局	田村 彰啓	国土交通省 土佐国道事務所 管理第二課専門員		○
5	事務局	吉村 文次	特定非営利活動法人高知NPO 理事長		○
6	事務局	楠瀬 路易子	NPO法人 高知NPO 浦戸湾みらい会議 「浦戸湾・色彩計画専門部会」		○
7	事務局	坂本 彰宏	特定非営利活動法人高知NPO 事務局長		○
1	オブザーバー	松本 英治	高知県土木部道路課 主幹		○
2	オブザーバー				
3	オブザーバー				
4	オブザーバー				
5	オブザーバー				
6	オブザーバー				
7	オブザーバー				
8	オブザーバー				
9	オブザーバー				
10	オブザーバー				

鏡川大橋色彩検討委員会 会 則(案)

(名 称)

第一条 本会は、「鏡川大橋色彩検討委員会」と称する。

(目 的)

第二条 鏡川大橋に於ける塗装等の更新に伴う全体及び各部の色彩を検討することを目的とする。

(会 議)

第三条 本会は、前条の目的を達成するため、以下のことを行う。

- ①色彩検討する上での視点場の検討
- ②色彩面から考慮すべき橋の諸要素の検討
- ③橋の各部における色彩検討
- ④その他

(組織構成)

第四条 本会の役員及び会員は、別紙の通りとする。

2. 会長は本会を代表し、会務を総括する。
3. 副会長は会長が指名する者とする。
4. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
5. 委員は第二条の目的に合意する者によって構成する。

なお、役員の任期は本会終了までとする。

(事務局)

第五条 事務局は、事務全般を掌理する。

2. 事務局は、本会を運営するための事務を行う。事務局長は土佐国道事務所管理第二課長をもってこれに充てる。

(その他)

第六条 本会則に定めのない事項については、その都度協議して決定する。

附則 この規約は、平成19年 月 日から施行する。

鏡川大橋色彩検討委員会のスケジュール

第1回委員会 H19.10.30

《現状報告と検討手順の決定》

- ・平成18年度「浦戸湾色彩計画策定協議会」で検討された概要報告
- ・色彩検討についての討論
- ・鏡川大橋に関するアンケートを行う内容・手法の確認



第2回委員会 H19.12予定

《色彩検討の実施》

- ・アンケートの結果報告
- ・コンセプト（案）の提示
- ・具体的な色彩検討

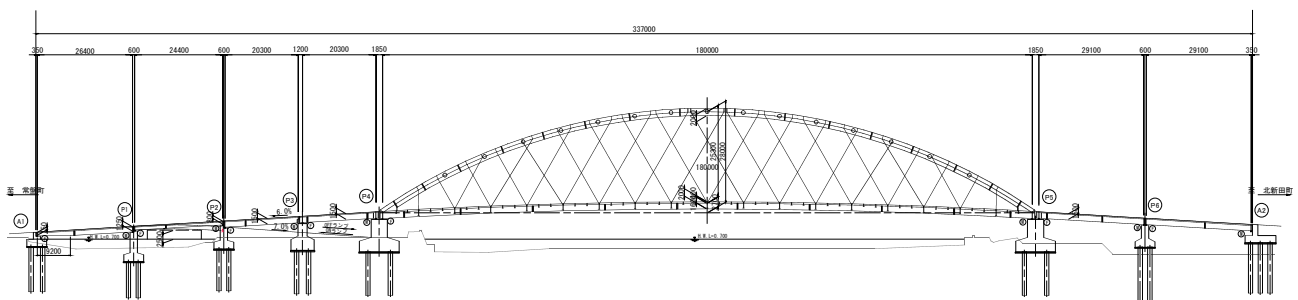


第3回委員会 H20.1~2予定

《色彩について提言》

- ・詳細な色彩検討
- ・シミュレーション画像（イメージ図）の確認
- ・提言案の提示、承認

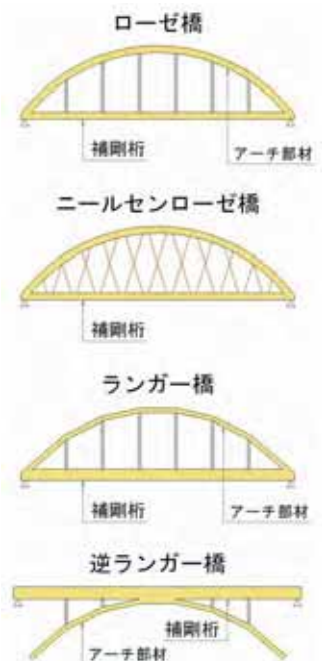
鏡川大橋の概要



- 鏡川大橋は、1981年（昭和56年）3月に完成した橋長337.0m、幅員33.3mの7径間の橋梁であり、鏡川に架かる橋梁では、径間が1番長い橋（アーチ部分がニールセン橋※L=180.0m）となっています。
鏡川大橋は、平成16年4月に高知市より国土交通省へ移管された橋梁であります。

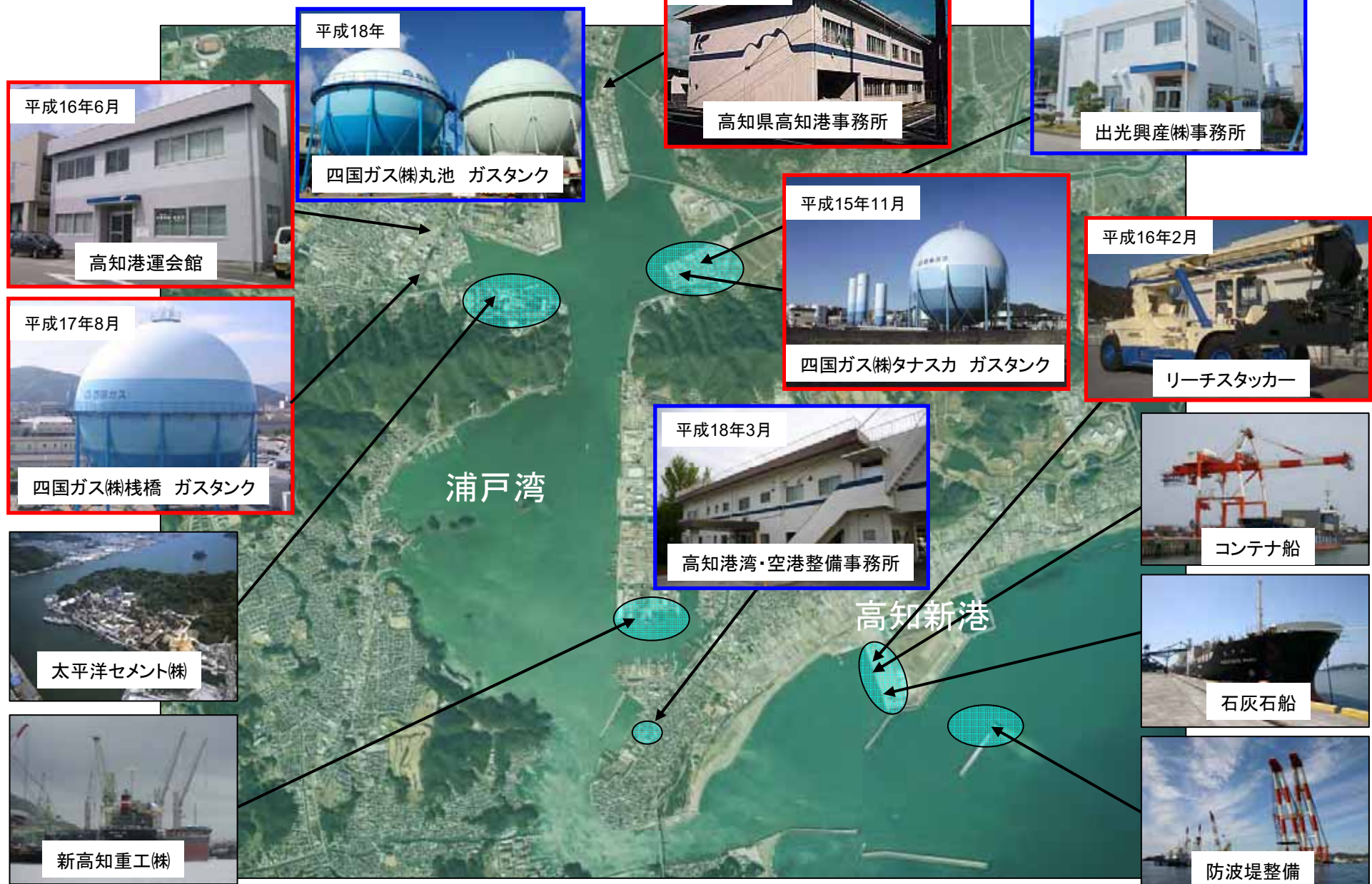
※ニールセン橋とは

ニールセン橋は、Nielsenにより発案されたアーチリブと補剛桁をむすぶ吊り材（斜め引張り材）を綾状に配置したローゼ桁橋の一種です。



色彩提案事例

資料-4



一凡例一

色彩計画の提案事例を示す。

色彩計画の調和事例を示す。

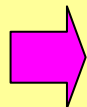
※写真左上の日付は塗装実施時期を示す

【 色彩提案事例 】

①高知県高知港事務所（平成15年3月）



(塗り替え前)

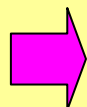


(塗り替え後)

②高知港運会館（平成16年6月）



(塗り替え前)

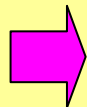


(塗り替え後)

④高知新港 新設リーチスタッカー（平成16年2月導入）



(塗り替え前)



(塗り替え後)

位置図



③四国ガス株式会社 新設ガスタンク
(平成15年11月)



(色彩提案し、新設されたタンク)



色彩検討する上での視点場について

鏡川大橋の色彩を考える上でそれぞれ異なる5つの視点場を考慮し検討する。



① ランドマーク（シンボル）としての視点（テレビ等）

高知市内にある構造物の中でも大型のものでランドマーク（シンボル）的な存在である。
五台山（遠景）を視点場とすることで、周辺市街地や背景の山との調和について検討する。



② 歩行者からの視点

歩行者にとってはすぐ目の前にあり威圧感のある存在である。歩行者の目線に立ち、橋全体の調和について検討する。



③ 国道からの視点

この橋は日々の交通量が非常に多く、またドライバーにとっては威圧感のある存在である。
運転者の目線に立ち運転に支障をきたさない橋と防護柵（内側）の色彩について検討する。



④ 生活者からの視点

日々その周辺で生活している人の目線に立って検討する。
北側橋下の自転車保管ヤード及び南側橋下のゲートボール場（公共空地）からの視点も考慮する。

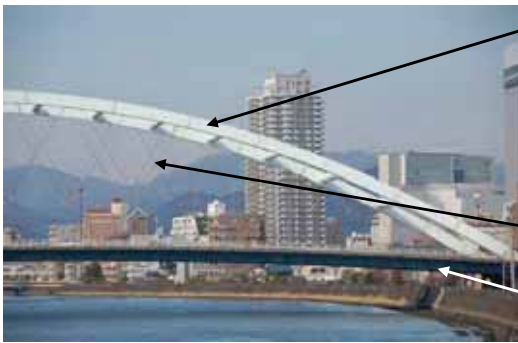


⑤ 海上からの視点

浦戸湾の最北部に位置するこの橋を海上（船）からの視点で検討する。

色彩面から考慮すべき橋の諸要素

※印:②⑤⑦は対象外



- ①本体アーチ部
- ※②歩道端防護柵下の地覆(コンクリート部)
- ③ワイヤー
- ④ケタ下鉄部



- ※⑤歩道端防護柵(外側)(内側)
- ⑥歩車道分離帯
- ※⑦街路灯
- ⑧ワイヤージョイント部(アンカーキャップ)
- ⑨境界壁



《参考》 施工済歩道端防護柵(南側) マンセル値:N6

